

2018年12月26日(水) 13:00~16:30

[報告]

SGH DR3による多賀城高等学校との交流プログラム・多賀城高等学校来校

## 1 テーマ

「震災(Disaster)・復興(Reconstruction)・減災(Reduction)・レジリエンス(Resilience)の担い手となる」

## 2 目的

被災地域との学校交流を通して、大規模震災に対するリスクマネジメントについて多角的な視点から学ぶ。

- ① 身近な地域に起こった、あるいは今後起こるであろう地域災害について学ぶ。
- ② 人文科学・自然科学の両面から震災を捉え、地域の課題について考える。
- ③ どのような減災・防災教育を行えるか考える。
- ④ 上記活動を通して、他を思いやることのできる生徒を目指す。

## 3 多賀城高等学校来校時の交流プログラム

- 北海道浦河高等学校生徒会の自己紹介と大嵐
- ① Z o o m会議の依頼事項に対する報告
  - ・神戸大学附属中等教育学校より報告
    - 神戸市復興住宅の現状と課題、災害ボランティアの孤独死への関わり
  - ② 多賀城高等学校のワークショップ
    - ・「クロスロード」神戸編の実践
    - ・減災カードゲームは紹介のみで実践は多賀城高等学校訪問時
  - ③ 神戸大学附属中等教育学校のワークショップ
    - ・本校で1月31日に計画している1・2年生防災学習「ハザードマップづくり」の実践と意見交換



大嵐で緊張をほぐす



依頼課題への回答



多賀城高等学校 クロスロード



神戸大学附属 ハザードマップづくり



両校集合写真

## 4 多賀城高等学校引率・今泉先生の感想

・顔を合わせて交流したことで、距離が縮まったと感じており、ZOOMでは得られないものを得たようです。これにより本校生徒の積極性も変わってくると思います。ますます発展した交流になるよう今後ともよろしく願いします。話し合いの様子から、神戸大附属の生徒は課題意識が高く、探求心が強いと感じました。

- 次回Z o o m会議予定 1月下旬 進行は本校
- 本校の多賀城高等学校訪問は2月14日午後